

発電所だより

6月号

平成21年6月発行 東北電力株式会社原子力発電所広報課 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

お知らせ

3号機における制御棒の過挿入について

5月28日、定期検査中の3号機で制御棒駆動水圧系^{*}の復旧作業を実施していたところ、137本ある制御棒のうちの1本が、全挿入位置からさらに挿入側に動作（過挿入）しました。

その後直ちに当該制御棒が所定の位置である全挿入位置に戻っていることを確認しました。

現在制御棒は全挿入状態にあり、原子炉の安全上の問題はありません。本事象が発生した原因については調査中です（6月4日現在）。

1号機の第18回定期検査中に発生した3件の事象に関する根本原因分析と再発防止対策を国に報告した翌日にこのような事象を発生させ、地域の皆さんにご心配をおかけしたことについて、心よりおわび申し上げます。

*制御棒駆動水圧系は、原子炉の出力（核分裂の割合）を調整する制御棒の挿入、引抜き操作に必要な駆動水の水圧、流量を調整し供給する系統です。

トピックス

3号機のプルサーマル計画についてご説明させていただきました。 ため、皆さまのお宅を訪問しました。

3号機のプルサーマル計画についてご説明させていただくため、5月18日から29日まで、発電所職員などが女川町全域および石巻市牡鹿半島部の約6500世帯を対象に訪問しました。

プルサーマルの実施にあたりましては、地域の皆さまのご理解をいただきながら、安全最優先で取り組んでまいります。

なお、牡鹿半島部以外の石巻市にお住まいの皆さまには、別途お知らせの上、訪問させていただく予定です。



▲いただいたご意見は今後の理解活動に活かしてまいります

トピックス

1号機第18回定期検査が終了し、関係自治体による立入調査が実施されました。

1号機は5月1日に第18回定期検査を終了しました。

これを受け5月8日、安全協定に基づいた宮城県・女川町・石巻市による立入調査が実施されました。

この調査では、定期検査に関する書面の調査を行ったほか、定期検査中に発生した事象に関する再発防止対策の取り組み状況、耐震性を高める工事の施工状況についての現場確認などを行いました。

当発電所は今後も安全を最優先に取り組んでまいります。



▲定期検査について、関係自治体から「点検は適切に行われている」との評価をいただきました



▲今回の定期検査で実施した耐震性を高める工事の施工状況をご確認いただきました

【発電所の運転状況（5月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	運転中	順調に運転しています
2号機	定期検査中	第10回定期検査中です
3号機	定期検査中	第5回定期検査中です

業務改善に関する講演会を開催しました。

5月12日に発電所構内において、業務改善活動の更なる継続・定着を図ることを目的に、日本HR協会[※]の東澤文二氏を講師に迎え「業務改善セミナー」を開催しました。

当日は発電所職員・構内協力企業合わせて約190名が聴講し、東澤講師からは、「改善は仕事のやり方を小さく、少しづつ変えること。気楽に、手軽に、手間をかけず知恵を出し、かつ継続して取り組んでいくことが大切です。」といったお話をありました。

発電所では、今回いただいたお話を活かし、発電所における意識改革のさらなる向上のため、積極的に業務改善活動に取り組んでまいります。

※日本HR（ヒューマン・リレーションズ）協会
：企業における「改善活動」の指導・推進団体

ふれあい

女川町野々浜地区から石巻市小積地区までの区間で
道路清掃を実施しました。

5月11日に女川町野々浜行政区
主催の道路清掃活動が実施され、東北
特殊工業㈱の皆さんと、発電所の新入
社員28名を含む発電所職員35名が、
日頃の感謝をこめて清掃活動に参加し、
女川町野々浜地区から石巻市小積地区
までの区間で、道路沿いに落ちている
空き缶やゴミを拾いました。



▲春の日差しを浴びながら行政区の方々と協力して実施しました

* せ川原子力発電所の 放射性廃棄物処理 *



発電所の運転や定期検査により、気体・液体および固体状の放射性廃棄物が発生します。これらは性状に応じて放射性物質の除去・低減あるいは閉じ込める等の処理を行い、しっかりと管理することにより、環境への放出を少なく抑えています。

■ 气体廢棄物

活性炭式希ガスホールドアップ装置によって放射能を十分に減衰させ、フィルターで放射性物質を取り除きます。

■液体廢棄物

フィルターやイオン交換樹脂、蒸発濃縮器等で浄化し、水は原則として再利用しています。

■ 固体廢棄物

セメントなどで固化するか、圧縮・焼却で減容処理をし、ドラム缶に封入して敷地内の固体廃棄物貯蔵所に保管しており、計画的に青森県六ヶ所村の低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出しています。

